

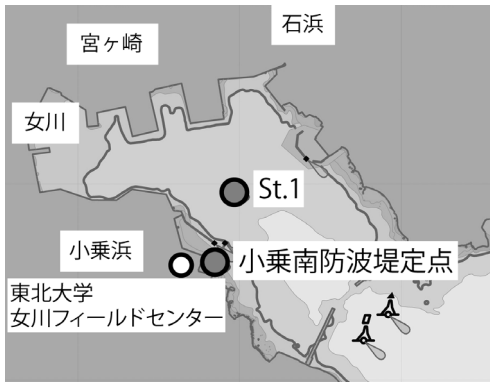
週刊 女川湾海況速報 (No.31)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

2 月 18 日から 22 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して水温は全層で上昇したが、経時的には下降。塩分も先週と比較して全層で上昇。経時的には表層（0m）で 21 日に下降したが、それ以外の期間は全層で 33.7 パーミル以上を維持。水温と塩分の上昇は外洋水の影響と推定。

水深 [m]	2月18日 (月)	2月19日 (火)	2月20日 (水)	2月21日 (木)	2月22日 (金)
0	7.8 (33.8)	7.4 (33.8)	7.4 (33.8)	7.0 (33.5)	7.0 (33.7)
6	7.7 (33.8)	7.5 (33.9)	7.4 (33.9)	7.1 (33.9)	7.0 (33.9)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル（千分率）。1 パーミル = 1PSU（実用塩分単位）。
*22 日は水深 5m のデータを使用。

②濁度：先週と比較して全層で下降傾向。経時的には 21 日に表層で下降。底層（6m）では 20 日に下降し、それ以降は 1FTU 以下の比較的低い値を維持。（単位は FTU）

水深 [m]	2月18日 (月)	2月19日 (火)	2月20日 (水)	2月21日 (木)	2月22日 (金)
0	1.2	1.2	0.7	0.6	1.2
6	1.1	1.2	0.7	0.7	0.8

③溶存酸素：先週と比較して全層で下降傾向にあるが、9~10mg/l 台を維持。経時的には 19 日に全層で一旦下降し、それ以降は 10.0~10.3mg/l を維持。

水深 [m]	2月18日 (月)	2月19日 (火)	2月20日 (水)	2月21日 (木)	2月22日 (金)
0	10.1	10.0	10.2	10.2	10.3
6	9.9	9.8	10.0	10.0	10.0

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 7.4~7.5℃、33.8~33.9 パーミルの範囲にあり、鉛直的には水深とともに上昇傾向。33.8 パーミル以上の高塩分水は外洋水と推定。濁度は 0.7~1.2FTU の範囲にあり、底層（19m）で最大。溶存酸素は 9.7~9.9mg/l の範囲にあり、底層で最小。

2 月 22 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	7.4	33.8	0.7	9.9
5	7.4	33.9	0.8	9.9
10	7.4	33.9	0.8	9.8
15	7.4	33.9	1.0	9.8
19	7.5	33.9	1.2	9.7

本データの利用については、東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。